

科目	単位	時間	履修学年	講師名
精神看護援助論Ⅲ	1	30	2	
ねらい	精神に障害のある対象の健康問題を分析解釈して、模擬患者の看護計画に基づきロールプレイを行い、看護の実際を体験する。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	精神看護・精神科看護とは 精神看護領域の看護過程の考え方	講義		
2回目	対象理解のためのコミュニケーション技術 患者-看護者関係の構築とは コミュニケーション技術としての環境・傾聴・情報収集	講義		
3回目	自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード① プロセスレコードの活用目的と方法 プロセスレコードの記述と評価の実際	講義		
4回目	事例を用いた看護過程の展開 ～事例紹介と既習の知識の確認～ 統合失調症の理解とケア	講義・演習		
5回目				
6回目				
7回目	事例を用いた看護過程の展開 ～情報収集と分析・解釈～ フェイスシート、関連図、データベース、仮診断、本診断	講義・演習		
8回目				
9回目	事例を用いた看護過程の展開～病態や症状が日常生活に及ぼす影響～ 診断リスト、看護計画、援助計画	講義・演習 グループワーク		
10回目	事例を用いた看護過程の展開 ～対象の自己決定を支える関わり～ 計画実施	演習 グループワーク		
11回目				
12回目	事例を用いた看護過程の展開 ～看護実践と看護計画の評価・修正～ 修正した計画実施 プロセスレコード② コミュニケーション技術	講義・演習		
13回目	患者-看護者関係の構築とは 環境・傾聴・情報収集	講義・演習 グループワーク		
14回目				
14.5回目 (45分)	精神看護・精神科看護とは 精神看護領域の看護過程の考え方	講義		
15回目 (45分)	対象理解のためのコミュニケーション技術 患者-看護者関係の構築とは コミュニケーション技術としての環境・傾聴・情報収集	試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学①② 精神看護の基礎, 医学書院			
評価方法	看護過程展開に関する記録物の提出 (100点)			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識を統合し、演習に取り組むことで分析・解釈を実践して、症状や意味を考え、対象理解に努める。 ・講義内で勧められるように、準備・進度・速度を考え、積極的な質問などで取り組む。 			